

令和4年度事業報告

人口減少、少子高齢化が進行する中、経済社会の活力を維持するため、法の改正や環境整備が図られ、シルバー人材センターは、人手不足の分野や現役世代の下支えを担う労働力として、会員の豊富な知識、経験、技能を活かし、地域貢献できる組織として期待され、地域に根差した活動を推進してまいりました。

令和4年度は、「第4次中期計画」の初年度として、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、「会員の増強」「就業拡大及び安全・適正就業」「財務の強化及び組織の充実」を重点目標とし、その目標から様々な活動(全38項目)に作戦名を付けて取り組んでまいりました。

事業内容としましては、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら、理事会、委員会、各種講習会などを、定期的で開催し、3年ぶりに東郷町文化産業まつりにも出店、ジブリパーク開園の機に企画された「あいち市町村フェア」にも参加して事業の普及啓発に努めました。

入会説明会は定例の月2回に加え、女性限定説明会や女性委員会が企画した講習会に一般からも参加を集い、筋力保持のため月1回ダンスの日を設けるなど委員会活動を盛り上げました。また、就業が困難になった会員へは生きがい活動に継続して参加いただけるようゴールド会員制度を導入し、デジタル化に向けスマホを活用したショートメール(SMS)やLINEで会員への連絡調整にも努めました。

安全就業についてはヘルメット貸与式や各種講習会で安全意識の向上を図り、高齢者の安全運転講習会を実施するなど、中期計画の目標に向け小さな活動を積み上げた1年となりました。

以下、令和4年度事業実績について報告します。

1 会員の増強

(1) 会員の確保

- ・イメージアップを図った会員募集や講習会のチラシ作成、広報委員によるシルバーだよりを年2回発行し、自治会回覧、ポスティング活動を全会員で実施した。
- ・毎月2回の入会説明会に加え、女性限定説明会を開催し女性会員を10名増員した。
- ・会員が友人・知人を紹介する活動「新入会員紹介カード」により14名が入会した。
- ・令和4年度の会員状況は入会者42名、退会者36名で年度末会員数256名であり、前年度から6名増員となった。

(2) 女性会員の拡大

- ・女性委員会「ねえねの会」が企画、PRに努めた「寄せ植え教室」「手芸教室」「美容教室」「断捨離講座」「ユニットおりがみ教室」に女性会員と一般から計44名の参加があった。
- ・女性委員会により筋力保持を目的に、ラジオ体操や音楽に合わせたダンスを月1回練習し、認知症予防になる脳トレクイズも取り入れて実施した。

(3) 会員の資質の向上

- ・技能講習会は、「草刈講習会」8名、「襖・障子張替講習」7名の参加を得て、技能の向上、後継者育成を図った。

- ・安全運転講習会は23名の参加を得て、交通標識や駐停車禁止の確認、危険予告トレーニングを外部から講師を招いて実施し安全意識の向上を図った。

(4) 退会抑制

- ・旅行やウォーキングを目的とした会員同好会(楽友同好会)や生きがい講習会をチラシ等でPRし、就業以外にも生きがいや居場所づくりを提案した。
- ・新入会員に入会后早期に就業先を紹介しマッチングを図るよう努めた。また、希望職種等を把握するため会員意識調査を実施し未就業会員の解消に努めた。
- ・シルバー事業に貢献し加齢などで就業が困難となった会員に、生きがい活動等で継続できるゴールド会員制度を導入した。

2 就業拡大と安全・適正就業

(1) 就業開拓と就業機会の拡大

- ・新規事業の開拓及び会員募集チラシを作成し、自治会回覧板、役員、全会員、職員によるポスティング活動を事業普及啓発促進月間(10月、11月)に実施した。
- ・多様化するニーズに対応できるよう、会員の意識調査ややりたい仕事、できる仕事調査を実施した。
- ・事業実績は、受託件数1,303件(前年度比3%増)、就業延人数19,839人(前年度比5.7%増)、配分金 81,986,874 円(前年度比7.6%増)であり、中期計画の目標値には届かなかったものの前年度を上回ることができた。
- ・派遣事業においては、就業延人数2,088人(前年度比24.9%増)、派遣事業総額 12,960,372円(前年度比23.3%増)であり、事務手数料分1,383,332円(前年度比23%増)が労働者派遣事業受託収益として東郷町事務所の財源となった。

(2) 独自事業

- ・「愛デア工房」はロビーで展示販売、「愛デアキッチン」は新型コロナ感染予防のため9月は休業したが評判も広がり、年間38日営業してランチ1,377食、持ち帰り惣菜パック2,257個を売り上げた。希望会員が無く「焼き芋」事業は中止した。
- ・ワンコインサービスはゴミ出しなど、町内の高齢者の困りごとに対応した。

(3) 安全就業

- ・安全意識の向上、事故防止を図るため、安全・適正就業委員会を4回開催し、熱中症予防やヘルメット着用等、安全意識を徹底するため、安全パトロールを7回実施した。
- ・令和4年度の事故件数は、傷害事故1件、車両事故1件であった。車両事故に対応し交通標識の確認や危険予知トレーニングなど安全意識の向上を目的とした安全運転講習会を開催し派遣会員、運転従事会員23名が参加した。
- ・愛デアキッチン「惣菜ランチ」事業では、新型コロナ感染予防のためアクリル板で仕切り、熱の確認、手指の消毒、黙食をお願いするなどの対策を講じて営業した。

(4) 適正就業

- ・「適正就業ガイドライン」に基づいて請負で問題がある事業所へ是正を図るため派遣事業や有料職業紹介事業への切り替えを提案し調整した。
- ・会員に平等な就業機会を確保するため、ワークシェアリングやローテーション就業を推進した。

3 財務の強化及び組織の充実

(1) 事務費、配分金の検討

- ・エネルギー価格等の高騰に対応するため、令和5年度より事務費を8%から10%に変更することを発注者に周知した。
- ・愛知県最低賃金の改正に伴い、配分金アップを事業所などの理解を得て見直し、新年度契約を取交わした。

(2) 事務の効率化

- ・職員研修会や会議などオンラインで参加し、会員の携帯への連絡をショートメール(SMS)やLINEを活用するなどデジタル化の推進を図った。

(3) 会員による自主運営体制

- ・定時総会は新型コロナ感染予防対策として、出席者を役員、地域連絡委員、表彰者に限定して開催し、他の会員には書面表決にて事業報告及び決算、会員会費規程の一部改正についてを可決した。また、理事会は毎月12回(うち2回書面表決)開催し、入会承認をはじめ決算関係、予算・補正予算関係、事業報告、事業計画について審議をした。
- ・第4次中期計画の初年度であり、安全・適正就業委員会、就業開拓委員会、広報委員会、女性委員会など各委員会が目標に向かって事業推進の機能強化を図った。
- ・14地区19名の地域連絡委員が、地域班として地域の会員とのパイプ役として情報収集に努め、ポスティング活動などを実施した。

(4) 事務局体制の充実

- ・目標管理、県シ連の実施する職員研修会や担当者会議に積極的に参加し、職員の資質の向上を図り、新規採用職員の人材育成にも努めた。
- ・シルバー専用システム(OA)の活用により、会員配分金振込みをネットバンキングに移行するなど事務の効率化を図った。
- ・愛知県シルバーの開催するオンライン会議に職員以外の役員、委員も参加した。

4 その他

- 会員の「楽友同好会」では新型コロナ感染予防対策を講じながら、6月に明治村をウォーキング、11月にバスツアーで信楽高原鐵道に乘車、狸絵付け体験を実施して会員相互の親睦を深めることができた。
- 令和5年10月より導入予定である「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」については、会員の配分金に含まれる消費税相当分を、シルバー人材センターが負担するかたちとなることから、特例措置を呼びかける「草の根運動」が全国的に実施された。東郷町シルバー人材センターにおいても「安定的な事業運営に対する支援を求める請願書」を町議会に提出して採択され、活動結果は国へ届けられたが、特例措置は取られない結果となり消費税分の支払方法等について理事会で検討した。